

平成20年度
一般会計当初予算などを可決

3月定例市議会が2月28日から3月21日までの日程で開催されました。山岸市長は招集のあいさつで、「時代に即応した施策の展開を図り、勝山市が未来に夢のある持続的な発展を図れるように努めたい」と新年度の決意を述べました。



招集の挨拶をする山岸市長

決まった内容

予算

- ・一般会計および10件の特別会計の平成20年度予算が可決されました(2〜5ページの予算概要参照)
- ・一般会計および9件の特別会計の平成19年度補正予算が可決されました(一般会計では3974万1千円増額)

条例制定等

- ・鹿谷地区簡易水道が勝山市水道事業へ統合され、木根橋地区簡易水道業

金に変更されます

- ・勝山市水道事業給水条例の一部改正により、鹿谷地区全域を水道事業給水区域に統合し、関係法令との整合性を図りました
- ・医療制度改革に伴う退職者医療制度の一部廃止や、長寿医療制度(後期高齢者医療制度)の創設、特定健診・特定保健指導の保険者への義務化により、勝山市国民健康保険条例が一部改正されました
- ・老人保健制度が長寿医療制度(後期高齢者医療制度)に移行されることにより、勝山市後期高齢者医療に関する条例が制定されました
- ・長寿医療制度(後期高齢者医療制度)の創設、および、国民健康保険税の税率改正などのため、勝山市税条例の一部改正されました
- ・介護保険料の激変緩和措置をさらに1年間継続することになりました
- ・その他、関係法令等との整合性を図るための条例の改正、規約の変更が5議案あり、可決されました

その他

- ・道路特定財源の確保に関する意見書
- ・その他、8議案が可決、承認されました

保険料額が改定

平成21年3月までの国民年金保険料は、月310円引き上げられ、月額1万4410円(定額)となり、年額17万2920円となります。

国民年金保険料の納付は前納がおすすめです

保険料を一定期間まとめて前払いすると、保険料が割引されます。

平成20年度前納額

現金納付	1年度分前納額	割引額	6か月(半年分)前納額	割引額
	169,850円	3,070円	85,760円	700円

※前納の割引額は毎年更新されます

※現金での前納は、4月に郵送されてくる納付書で金融機関等の窓口または社会保険事務所にて納付できます。(納付期限は4月30日(水)です)

「ねんきん特別便」を受け取ったら、加入記録の確認を!

「ねんきん特別便」には、「年金記録のお知らせ」などが入っています。このお知らせを受け取った場合には、記載されているお勤め先や国民年金加入の記録に漏れがないか、ご確認をお願いいたします。

もし、年金の加入記録に空白がある場合には、厚生年金などの加入期間が漏れている可能性があります。

漏れている記録や誤りがあったときには、「年金加入記録照会票」に漏れている記録や誤っている記録について記入してください。

○記録の漏れ・訂正がある場合
確認ハガキを切り離さずに、年金加入記録照会票を返信用封筒で郵送

○記録の漏れ・訂正がない場合
年金加入記録照会票から確認ハガキを切り離して郵送

問 ねんきん特別便に関するご質問、お問い合わせは「ねんきん特別便専用ダイヤル」

(☎0570・0588・5555)
福井社会保険事務所
(☎0776・23・4516)
市民課(☎88・8102)

創造から飛躍へ
「わがまちげんき発展事業」提案募集!

市では、勝山市エココミュニケーション協議会と協働し、市民の皆さんの主体的なまちづくり活動を資金面で応援します。

対象者▼各地区(公民館単位)のまちづくり団体、市内に事務所を置くNPO、市民団体、市内に営業所を置く地域に貢献する企業など

助成部門

- ① 一般提案の部 一つの団体が単独で行うまちづくりの取り組み
- ② 協働提案の部 2団体以上が連携して行うまちづくりの取り組み
- ③ 特産品開発の部 勝山の遺産を活かした名産品、お土産品を新たに開発する取り組み
- ④ パワーアップの部 これまで取り組んできた成果をさらに発展させるための中小企業診断士や税理士等によるコンサルティングにかかる経費の助成

事業説明会

とき 4月21日(月)
午後7時〜8時30分

ところ 教育会館3階第1研修室
提案募集受付期間▼
5月7日(水)〜5月16日(金)

申・問 未来創造課内エココミュニケーション協議会事務局(☎88・1115)

災害時のライフラインを守るつと協定を結ぶ

豪雪や地震などの災害時に上下水道施設が被災した場合、応急復旧や応急措置の協力をしようと、勝山市の水道事業協同組合と下水道工事店組合から申し入れがありました。

上下水道施設は、市民生活に直結するライフラインであり、勝山市では、3月24日に「災害時における協力に関する協定」を同組合と締結しました。

市では、昨年2月にも、社団法人福井県エルピーガス協会勝山支部と「災害時における応急救護用燃料の供給に関する協定」を締結し、災害時のライフラインの確保に努めています。



アポットラボラトリーズ
国際医療品生産事業部社長が
山岸市長を訪問

3月19日、市内に事業所を持つアポットジャパンの親会社である、アポットラボラトリーズ国際医療品生産事業部社長のジョン・ランドグラフ氏と、アポットジャパン株式会社代表取締役社長グレン・ワーナー氏が、初めて勝山市を訪れ、山岸市長と面談をされました。

ランドグラフ氏は、「勝山営業所は、顧客サービス、コスト、品質の面でベストの実績を上げています。すばらしい社員と従業員に恵まれ、誇りに思っています。」



「勝山は緑がきれいで、大変美しい。」と話すと、市長は「すばらしい評価をいただき、うれしく思います。勝山の人は労働に対して、一生懸命に取り組む気質を持っています。勝山には様々な名所がありますので、勝山事業所に触れる折に紹介してほしいと思います。」と市のPRを兼ね、感謝の言葉を述べられました。

ご寄付ありがとうございます



2月29日、同11日に死去された前勝山市長今井三右衛門氏の長男、今井克己さん(郡町2)から、100万円の寄付をいただきました。「亡父の遺志ですので、勝山市のために役に立ててください。」と市長に寄付金を手渡しました。



3月25日、福井エフエム放送株式会社から、防犯ブザー200個が寄付されました。市役所を訪れた中村健次取締役営業本部長は、「今年で5年目になりますが、子ども全員がブザーを持っていれば、それだけで抑止力になってくれる。」と話されました。